

会議概要書	
協議会等の名称	令和3年度第3回国民健康保険運営協議会
担当部課名	市民生活部保険課
会議の開催日時	令和4年1月13日（木）13:30～14:45
会議の開催場所	袋井市役所5階第1委員会室
出席者	袋井市国民健康保険運営協議会委員 13人 （被保険者代表4人、保険医及び保険薬剤師代表4人、公益代表4人、被用者保険代表1人） 市長 事務局 市民生活部長、保険課長、保険課職員3人、健康づくり課2人
議題	報告事項 ア 袋井市国民健康保険税条例の一部改正の概要について イ 答申書について ウ 令和4年度国民健康保険事業費納付金及び標準保険料率について （仮算定） エ 袋井市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画） 袋井市国民健康保険特定健康診査等実施計画の進捗状況について
答申（14:30～）	会長から市長への答申

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
事務局	<p>1 開会</p> <p>袋井市国民健康保険運営協議会規則第5条で、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことが出来ないと規定している。委員14名中13名の方が出席しているため、本日の協議会は成立している。</p>
	<p>2 会長あいさつ</p>
会長	<p>昨年11月18日に開催した第2回運営協議会において、市長から「袋井市国民健康保険税条例の一部改正について」と「令和4年度国民健康保険事業運営方針について」の2項目について諮問を受けた。事務局と私で案を作成し、事務局を通じ、皆様からの意見等を反映したものを、本日最終確認していただいた後、市長へ答申をしていきたい。また、事務局から令和4年度国民健康保険事業費納付金、標準保険料率及びデータヘルズ計画等の進捗状況について報告がある。委員の皆様には、忌憚のないご意見等をお聞かせ願いたい。なお、委員の任期が、本年度までとなっております。3年間ありがとうございます。心から感謝申し上げます。</p>
主な内容	<p>3 議事</p> <p>(1) 報告事項 事務局にて説明</p> <p>4 その他 事務局から高額療養費支給申請手続の簡素化の説明</p>
委員	<p>(質問)</p> <p>現行税率と標準保険料率との差が、令和5年度、6年度で縮まっていくということであるが、その先は令和9年度までに揃えていくということよろしいか。</p>
事務局	<p>(回答)</p> <p>委員が言われたとおり、今回、本市の改正は令和4年度から6年度の3ケ年であるが、県の運営方針では、令和9年度の保険料水準の統一と定められており、9年度の統一に備えている。</p>

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
委員	<p>(質問) 【事前質問1】</p> <p>特定保健指導の取組について、終了率が大幅に向上しているのは良い傾向である。 一方で対象者総数があまり減っていない点が気になる。対象者の内訳分析（流入・流出・継続）をされているようであれば傾向などを教えていただきたい。</p>
事務局	<p>(回答) 【事前質問1の回答】</p> <p>特定保健指導の対象者のうち、積極的支援対象者は約2割、動機付け支援対象者は約8割である。 積極的または動機付け支援の保健指導をした方のうち、翌年度に改善して保健指導の対象から外れる方は、約5割いるが、新規で健診を受診された方のうち、特定保健指導の対象となる方が、外れた人数の9割前後いるため、結果的に対象者がそれほど減っていないという状況になっている。</p>
委員	<p>(質問) 【事前質問】</p> <p>袋井市国民健康保険保健事業実施計画の進捗状況について、資料4「計画の目的、目的を達成するための目標」に、目標ⅠⅡⅢⅣとあるが、目標Ⅱ 糖尿病が多いがなぜか。 近隣市町の糖尿病についてと、目標ⅠⅡⅢ等あったら教えていただきたい。</p>
事務局	<p>(回答) 【事前質問の回答】</p> <p>糖尿病が多い要因については、今までも、健診を受けた方を対象に、生活習慣のアンケート調査の実施と健診結果をクロス集計をするなど分析を行ってきましたが、決定的な要因は明らかになっていないのが現状である。 糖尿病の多くは、生活習慣に起因して発症しており、家庭内の食習慣や身体活動といったものが、親から子へ受け継がれる結果、その子どもが大人になって糖尿病を発症するといった連鎖も少なからず影響していると考えられることから、保健指導の実施と併せ、全市民を対象として、糖分摂取に関する取組と野菜いっぱい運動を展開し、将来的に糖尿病要治療者を減らす取組を進めているところである。</p>
委員	<p>(意見)</p> <p>事前質問に適切に答えていただいた。 私どもの被用者保険もこの6年間の保健事業をやっているが、3年間のレビューをした。同じ悩みをもっている。私どもの実施率は伸びているが、対象者は全く減っていない。翌年度の3分の2は対象で、3分の1は改善している状況である。出ていった3分の1がまた新規で入っていく。年齢の内訳でも、新たに40歳になった方もある程度の数を占めていて、いくら保健指導の率を上げていっても、次から次へと予備軍が入ってくる。残り3年間広く呼び掛けるように考えている。</p>

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
委員	<p>(質問)</p> <p>資料4の4ページの取組4について、人間ドック等の受診費用の状況について、各医療機関ではコロナ禍ということもあり、受入れの人数を制限したり、受診者自らが控えるなどの傾向があると思う。助成金額の3万円とのことであるが、被用者保険の方は人間ドックを受ける方が多いと思うが、そういう方が退職をし、国保の被保険者になるということになった場合、1年間の被保険者期間がないと助成対象ではないという要件がある。</p> <p>この場合、一年間間隔が空くケースが出てくる。この要件についての理由を聞きたい。可能であれば、被保険者になったということで受診ができればいい。</p>
事務局	<p>(回答)</p> <p>本市が助成を実施している人間ドックの検査項目には、特定健診の項目が入っている。法定報告の特定健診の受診率は、4月1日を基準日として1年以上加入していることが条件となっている。本市としては、特定健診の受診率向上対策のため、加入後1年間との規定を設けている。</p> <p>人間ドックの助成対象ではない年は、医療機関で受診する特定健診や、市のがん検診を受診し、健康管理をしていただきたい。</p>
委員	<p>(質問)</p> <p>資料4の2ページの(5)の計画の体系図について、1から4の4項目について目標を定めて、保健活動をしているということである。</p> <p>保険者であるため、疾病の傾向であるとか、疾病ごとの医療費の傾向とかを把握していると思うが、1から4以外に、疾病の割合が多く医療費も多いところで、さらにこれ以外で、目標を定めて、保健活動に取り組むという必要があるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>(回答)</p> <p>市内の国保加入者をはじめ、全市民の健康を守るために、この生活習慣予防病は、非常に重要なものである。委員指摘の1から4までの項目は、非常に患者が多く、医療費が高い疾病を項目立てしている。</p> <p>これ以外に特定健診の結果、血圧については全体的な率は低かったが、袋井市は元々、年齢層が若い方が多く、年齢調整をした結果、高血圧に該当している方が少なくないことが、最近、判明してきた。また、脳血管疾患による死亡率も高いといった課題もあり、法定報告の順位だけではなく、血圧に対する取組も深めていきたい。さらに(血圧は)4項目の中にある人工透析にも関連してくる項目でもあるため、それも踏まえて取組を考えている。</p>
委員	<p>(質問)</p> <p>資料4の4ページの取組4の人間ドックの助成が3万円と非常に手厚いと感じるが、近隣の市町の状況がわかれば、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>(回答)</p> <p>以前の県の調査で、数年前のデータになるが、磐田市及び掛川市は1万5千円、浜松市は助成制度がないと把握している。袋井市は、費用の7割(3万円)を上限としているため手厚くしている。</p>

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
	<p>以上で本日の議事が全て終了した。 司会を事務局にお返しする。</p>
	<p>4 その他</p>
事務局	事務局から高額療養費支給申請手続の簡素化の説明
	<p>5 諮問 市長から会長への諮問（答申書の読み上げ）</p>
	<p>6 市長あいさつ</p>
市長	<p>多忙の中、本市の国民健康保険事業の運営の答申書をまとめていただいた。</p> <p>国民健康保険は、高齢の方や低所得者層の加入割合が、他の保険制度と比較し、その割合が非常に高く、増加する医療費への対応のため、適正な財政運営が課題となっている。</p> <p>このような状況の中、県が主導する令和9年度の保険税水準の統一に備え、今後の収支見込み等に基づいた国保税の賦課方式や税率の一部改正を提案させていただいた。</p> <p>委員には、医療、被保険者、公益、被用者保険の代表として、それぞれの立場からご議論いただいた。感謝申し上げます。</p> <p>今後、この答申書の内容を踏まえ、本市の国保事業の安定経営に努めていく。</p> <p>昨年を振り返りますと、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、その対応に追われた一年となった。</p> <p>この新型コロナウイルス感染症は、昨年9月には、減少傾向に転じたものの年末には、新たにオミクロン株という変異株が発生し、本年に入ってから、全国的に感染者が急増している。1月7日には、沖縄、広島、山口の3県において蔓延防止等重点措置が適用され、依然として、余談を許さない状況が続いている。</p> <p>本市では、現在、3回目のワクチン接種に向けた準備を進め、高齢者には、1月7日から順次、接種券を発送し、1月19日からの接種開始を予定している。引き続き、市民の皆様の感染拡大抑制に努めていく。</p> <p>今後とも、様々な立場から、本市の国民健康保険事業に協力願いたい。</p>
	<p>7 閉会</p>
事務局	令和3年度第3回袋井市国民健康保険運営協議会を閉会とする。